

## 学生による授業評価アンケートについて（都市計画）

文責：宇於崎勝也

前期授業の最後に行った「学生による授業評価アンケート」の集計結果が出ました。回答数は環境・構造コース、企画経営コース（金曜日3時限目）90名、設計・計画コース（木曜日3時限目）53名です。5段階の評価を行う設問では、「9. 学生との間にコミュニケーションが成り立っていましたか」「10. 授業が静粛に運ぶよう努力しましたか」が「どちらともいえない」という中間評価に近くなっており、「13. 授業に関する質問を行いましたか」「15. レポートなどの授業時間外の課題を提出しましたか」「16. 授業への出席率はどうでしたか」が学科・科目区分全体平均、学部全科目の平均よりも下に出ています。レポート課題は出題しておりませんので、あとの2件に関しては学生の皆さんが自覚していることだと思います。

全てのコースをあわせて18名が自由記述欄に回答を寄せました。内容をTAにまとめていただいたところ、悪かった点、改善して欲しい点として下記のような意見がありました。

- ・パワーポイントの進行が早い—7票
- ・パワーポイントの枚数が多い—4票
- ・学習量が多すぎて覚えきれない—4票
- ・全般的によくわからない（授業の必要性が不明）—2票
- ・教室内がうるさい—4票

本意見を反映して次年度より授業の工夫をいたします。

- ・パワーポイントの進行が早い

> 講義のポイントを絞り、かつ配布物を充実して余裕のある講義を心がけます。毎年宣言している割には、少しも改善されずに申し訳ありません。

- ・パワーポイントの枚数が多い

> 枚数が多いのは図表・写真を多用しているためです。スライドの内容をノートに写しきれないという指摘もありましたが、ガイダンス時にお話したように1字1句をノートにとって貰うことは想定しておりません。授業の各回のポイントは配布するプリントと、授業の内容が記述してある教科書のページをお話していますので、復習は教科書を中心に行ってください。

- ・学習量が多すぎて覚えきれない

> 都市計画の授業は内容が多岐にわたるにもかかわらず、授業時間は限られています。わずか半期の間に一般教養として身に付けて欲しい都市計画の内容が多量かつ多様であること事実です。購入いただいた教科書「都市の計画と設計」は網羅的に都市計画の概要について記述していますので、教科書を用いて復習をしてください。

- ・全般的によくわからない（授業の必要性が不明）

> 授業でも話したように都市計画は建築家・建築技術者に限らず、一般市民の声で変えたり、作ったりすることができる時代になっています。市民が身につけるべき教養（建築にたずさわるとなれば、さらにさまざまな規制・手法が関係してきます）として身に付けてください。

- ・教室内がうるさい

> ガイダンス時にお話したように、自分達で授業を受ける環境、向学心のわく環境を作る努力をしていただきたいと思います。あまり騒がしすぎて授業を妨害されるようになった場合には退出を促すつもりでしたが、今年度はマイクを使わずに授業を実施することで対応しました。

以上